

桜の花が咲く季節になり、冷たかった風も今では暖かくな
りました。坂野先生はいかがお過ごしでしょうか。僕は元氣
で生活しています。お忙しい中、お手紙ありがとうございました。
坂野先生から手紙が届いてすごく嬉しかったです。今ではあの
審判の日から三日が経ちました。少年院での生活も自來団寮
に拘って、三日未で一カ日半になります。なので生活のリズムに乗り
生活しています。この生活の中では毎日いろんな事を考えたり
します。この少年院は職業訓練を教育の中心とした
施設で、溶接、板金、電工、木工、ワリリーニングといった実科場が
五つあり、僕は仕事に生かせる溶接料を希望し、溶接料に
行く事が出来ました。今は溶接の資格を取る為に勉強をして
います。この実科作業は週に四回あります。その他の時間は
ほとんど寮内で生活しています。寮内では他生もいますが、少
年院は生徒同士の話が一切禁止ですので静かな時間が沢山
あります。その時間で本件の事や、家族の事、そして自分の

事を考えています。坂野先生と初めて会った時の僕は確かに幼い自分でした。僕が行った犯罪の重大さを理解していませんでしたし、自分に対しての危機感もありませんでした。僕を産んで育ててくれている父親や母親の気持ちも深くは考えていませんでした。でも今回僕が非行を起こして捕まってから、新しいことを沢山見つけられるようになりました。その見つけられたことのおかげになつたのは坂野先生、松原先生に出会えたことです。今も坂野先生に言っていた話を出して考えます。ついでこの間、新しく見つけたことがあります。それは坂野先生が初めて僕に会いに来て下さった日の事を考えていて見つけました。

坂野先生が僕の生い立ちを聞かれた時に、僕が5年前に旧児童自立支援施設に入っていた事を話しますと、先生から、その時にしっかりとやらなかったから今こうなってしまったと僕に怒って下さった事です。僕はそれから考えていて、5年前と今は別の問題と考えるようになりました。仕事もすっかりやっていたから昔とは変わり

たんだと思っっていました。でも仕事もしっかりやっていたのになぜ非行を起こしてしまっただろうと見方を転換させて考えていました。そうしてまた昔の旧児童自立支援施設の頃と、今回の非行を起こした頃の自分の考え方を見比べて変わっていない所を見つけました。それは犯罪に対する考え方です。僕は昔、非行をして次山の施設に入っただけは嫌になっただけで、逃げる事をくり返していました。それはただ施設が嫌だったからです。なので非行をすれば施設に入れられるという考え方をしています。非行をしなくなっていました。犯罪をすれば捕まるという考えで犯罪に思っていました。これは今回の事件を起こした頃にもそう思っていました。街に歩いている犯罪をしない少年に犯罪はなぜしませんかと質問しても施設に入る事になるからと言っている人はいないと思いましたが。僕は犯罪に対して自分勝手な考え方をしていました。が、本当に大切なのは犯罪によって人を傷付け、苦しめるということだと思ふようになりました。この人には、被害者だけ

でなく僕を産んでくれて育ててくれる父親、母親や姉弟、身近な人も含めてです。そして今僕が生きているという事や、家族の大切さも深く考えようになりました。この事でも坂野先生が話して下さった事を田心い出して考えていました。1億分の1人が僕という話をして下さった事です。僕がこの

少年院に来た頃に田心いました。僕がこうして生きているのは当たり前ではないという事です。今までは生きているという事がたさを考えた事もありませんでしたし、今までは生きて来たのど、生きているという事が当たり前になっていて考えた事がありませんか。僕以外の少年でこの事を思っている人は少ないと思いますし、もしこの考えを誰かに話しても相手にされないかもしれません。僕はずごく大切な事と思っと思っています。こうやって思うようになって自分の人生について深く考えようにもなりませんでした。今日という日は過ぎれば戻らないこんな当たり前の事ですがこの意味の深さを知った以上、自分の人生は無駄に出

来ないと思っようになりました。あと60年は生きたいななんて
思ったりもしています。そんな自分の人生を使って今ままで
やれなかった事をしているかと思っっています。それは、僕を産
んで育ててくれた父親、母親に心からありがとうという
気持ちを持って接して行く事です。今までは親の苦勞も知らず
心の底から非せしませていた僕ですが、今まで親の気持ちも
考えていなかった分、今になって一度にまとめて沢山感じました。
今まで父親と母親にした事についてすごく後悔しています。
でも後悔しているだけでは前へ進む事が出来ないのだから、こ
う後悔する事のない日々を送っていきます。今まで母親と
あまりうまく接する事が出来なくて、母親に対して背中を向
けていた状態にでした。だから親子関係が良くなりませんでした。
なので僕から母親の方を向いて接していきます。僕は必ず良くなる
と信じて頑張ります。母親が元気になれる事は僕でもあるので
この事を心に留めずに努力をして母親の病気を良くしようと思っ

います。坂野先生に言っていたいただいた助言であごく前向きになれました。坂野先生が鑑別所に目取後の面接に来て下さった時の被害者の柵の話の事も考えました。今から二カ月前に見えました。僕が思った被害者の柵は被害者の気持ちだと思いません。僕には被害者の気持ちを見る事が出来ていなかった。柵にぶつかると思っています。相手がどんな人でも僕が人間である限り思いやりの心は大切にしなければいけないと思っていました。本件非行では被害者の心を考える事が出来ませんでした。これから人間として生きていくためにこの気持ちを大切にしていきたいと思います。僕が起こしてしまった非行から沢山の人に助けももらえました。今は大平光代先生のあなたはひとりじゃないという本を読んでいます。坂野先生が大平光代先生の本を僕に紹介して下さいました時にヒントが見つかるかもしれないよと言っていた事をずっと覚えていました。なので読書の許可ももらった時に大平光代先生の本だけを探しました。

だからあなたも生きぬいてという本はあるみたいなのですが
が他生がかりているのか見つけられませんでした。今はまだ
あなたはひとりじゃないを讀み始めたばかりですが讀
んでいてすごく元気になります。人間関係の事ですごく
勉強になります。親子関係でもルからお互いに話す事
が大切と思いうようになりました。内容はどんな事でも良いと
思っています。内容より会話を話するということに意味がある
と思いました。少年院では手紙を出す事が出来るので、西親
に手紙を書いて僕の状態を伝えていこうと思えます。僕に
与えられたこの時を大切にして坂野先生に教えていただいた
戒めの五つの言葉を生かせる毎日にしていくように努力してい
きます。最後になりましたが今は季節節の変わり目ですので風邪な
どは気を付けて下さい。

平成 年 月 日

坂野直一様